

腫瘍血管の制御機構の解明と新規治療法の開発に関する研究

1. 研究の対象

大阪大学医学部附属病院消化器外科で「消化器疾患患者生体試料の保存」に同意された患者さんの手術で摘出された標本のうち病理組織検査で使用しない余剰検体や解剖検体を研究のために使用します。対象の病気は肝臓がんと大腸がんです。

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、“がん”のなかにある血管の特徴を明らかにすることです。全身に栄養や酸素を与える血管は、がんにとっても必要で、がん細胞は栄養を獲得し自身が大きくなるのに血管をつくらせることがわかっています。そこで、血管を抑える治療を行うことがあります。血管内皮増殖因子(VEGF)と呼ばれるタンパク質を抑える薬物治療が、一部の進行癌で行われていますが、実際には血管を抑える効果が十分でないこともあります。この研究で、がんの血管に特徴的な分子を見つけることができれば、効果の高い新しい治療法の開発に繋がる可能性があります。

本研究は大阪大学眼科と消化器外科で行われる研究です。生検、外科手術、病理解剖によって摘出され保存されている腫瘍組織を薄く切り取った標本にした後、腫瘍血管を構成する細胞に含まれるタンパク質やRNAを調べます。研究実施期間は2年間です。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2027年3月31日

利用又は提供を開始する予定日：2025年10月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴 等

試料：外科手術で摘出した組織 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部へデータは提供しません。

5. 研究組織

(利用する者の範囲)

大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学（眼科学） 西田幸二

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学大学院医学系研究科 眼免疫再生医学共同研究講座 福嶋葉子

住所 吹田市山田丘 2-2

電話 06-6879-3456

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学（眼科学） 西田幸二